

平成20年4月15日

新宿区長

法人名 ホロコースト教育資料センター
 所在地 新宿区大京町22-1 HAKUYOビル6F
 (フリガナ)イシオカ フミコ
 代表者氏名 石岡 史子

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

| | |
|------------|--|
| 事業名 | “生きること” “学ぶこと” を考える展示パネルの制作および貸出 「ぼくと妹と秘密の学校のなかまたち ～テレジン収容所で過ごした日々」 |
| 実施日時又は期間 | 2007年5月～2008年3月 |
| 対象者の範囲及び人数 | 新宿区内外の小中学生、高校生および先生、保護者、約1万人 (うち展示パネルを実際に見た人数は、1,000人) |
| 事業内容 | アウシュビッツ収容所とテレジン収容所を16歳で生きのびたチェコ生まれの少年ジョージ・ブレイディの証言をもとに、生きることや命の大切さを学ぶ子ども向け展示パネルを作成し、貸し出しする。 |
| 具体的な活動状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・2007年5～6月 展示パネルの制作 A1サイズ(縦85×横60cm)19枚 小学校～一般用 中学～一般用 ・2007年8月 展示パネルの公開 四谷地域センターロビーにて ・2007年9月 展示パネル改訂および広報 ・2007年12月 門真市立第三中学校へ貸出 神戸学院大学でパネルをもとに学習会 ・2008年1月 目白学園中学校へ貸出 ・2008年2月 生協・母親の会でパネルをもとに学習会 |
| 事業の成果 | 夏の展示パネル公開の際には、子どもから大人まで多くの区民に見てもらうことができた。そこでの見学者の感想・意見がパネルの改良作成に大いに役立った。新宿区の学校からのパネル貸出依頼は1校であったが(区外からの貸出依頼は1校)、区内の全小中学校、高校へ教材の案内をすることができた。今後必要なときに、人権・道德教育のためのパネルとして活用してもらいたいと考えている。 |

2 助成対象事業費内訳（実績）

内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

| 収入 | 経費 | 積算根拠（内訳） | | 金額 |
|--------------------|-----------|-----------|--|-----------|
| | 団体負担金 | | | 171,020 円 |
| | 参加費・資料代等 | 目白学園中学校 | 2000 円 | 2,000 円 |
| | その他の収入 | | | 0 円 |
| | 協働推進基金助成金 | 助成金申請額 | | 150,000 円 |
| | 計 | | | |
| 支出（助成の対象になる事業費の内訳） | 費目 | 決算額 | 内訳 | |
| | 会議費 | 0 円 | | |
| | 宣伝費 | 170,347 円 | チラシ発送(クロネコヤマトメール便)(118,990 円)(別添)、宛名ラベル(4,462 円)、封筒(1,442 円)、コピー用紙(33,193 円)(別添)、チラシ発送(郵便)(4,740 円)、チラシ発送用切手(5,820 円)、アルバム(1,700 円) | |
| | リース費 | 0 円 | | |
| | 消耗品費 | 11,801 円 | USB(7,980 円)、付箋紙(546 円)、ファイル(991 円)、DV テープ 2 本(968 円)、パネル用クリーナー(198 円)、のり 20 本(980 円)、セロテープ(138 円) | |
| | 謝礼 | 0 円 | | |
| | 人件費 | 63,125 円 | パネル作成アルバイト(時給 750 円、18 日間)(別添) | |
| | 材料費 | 57,335 円 | パネル作成用ラミネート A3-20 枚(1,239 円)、A3-200 枚(8,880 円)、プリンター トナー(11,243 円)(別添)、プリンター トナー(8,790 円)、コピー用紙(7,044 円)、印画紙(882 円)、カラーコピー(12,450 円)(別添)、写真プリント(3,557 円)、絵の具筆(1,069 円)、手袋(312 円)、CD-R1 枚(355 円)、ファイル 5 冊(974 円)、クリップ 10 個(540 円) | |
| | 交通費 | 9,340 円 | ボランティア 1 名×8 日分(7,040 円) 目白学園訪問授業(2,300 円) | |
| | その他諸経費 | 11,072 円 | パネル運送料・目白学園(1,260 円)、資料請求のための海外郵便 2 回(3,100 円)、裁縫道具(542 円)、キンコーズパソコン使用料 3 回(1,095 円)、メディアケース(480 円)、乾電池(315 円)、USB 切替器(4,280 円) | |
| 助成対象事業費（小計） | | 323,020 円 | | |
| 余 剰 金 | | 円 | | |
| 助 成 対 象 外 事 業 費 | | 0 円 | | |
| 事 業 総 額 | | 323,020 円 | | |

3 助成事業の成果と課題

| 評価のポイント | 自己評価 |
|------------------------------------|--|
| 事業を計画した当初に決めた課題について、どこまで達成できたか。 | 今事業で作成した展示は、困難な時代に大人たちが子どもたちを守り、子どもたちは仲間同士で励まし学びあいながら過ごした様子に光をあてた。目標とした区内5校への貸出は達成できなかったが、区内外3ヶ所での展示会を実現し、見学者より寄せられた感想(別添)を今後役に立てていきたい。また引き続き貸出を希望する学校を募っていききたい。 |
| 地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。 | 四谷地域センターで展示会を行うことができたことで、通りがかりの方も含め多くの区民にパネルを見てもらうことが出来た。また、区内の全小中学校・高校に資料を配布することができたことにより、当 NPO 法人の教材を広く知ってもらうことができた。今後、学校で必要があったときに役に立ててもらえると思う。 |
| 新たに気づいた課題は何か。 | 小学生にもわかりやすいパネルを製作したつもりだったが、対象は中学生ぐらいからが適当だとの感想もあった。小学生向けのパネルを新しく作成したい。 |
| 理解者や支援者が広がったか。 | 新宿区内外在住の当センターボランティア、また区内の展示会を見た見学者から、こういった内容の展示をしてくれてありがたい、今後もいろいろなところで伝えてほしい、という感想を受けた。また、パネルに対する意見やアイデアなども多く寄せられた。 |
| 事務局の執行体制は十分だったか。 | 事務局スタッフ2名、アルバイト1名、ボランティア5名により、展示パネル案の検討、パネル作成、展示貼り付け、学校への案内発送などをスムーズに行うことができた。 |
| 今回の事業を発展させた新たな事業としてどのような事業が考えられるか。 | 児童・生徒、教師や保護者から寄せられた感想をもとに、小学生に適したパネルセットを新しくつくりたい。今後、予定されている舞台「ハンナのかばん」と結びつけたパネル利用も検討したい。 |

4 活動の成果

* 事業の成果物(冊子など)又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。
* 参加者の意見なども報告してください。

以下を添付します。

- ・ パネル見学者の感想(一部抜粋)と展示の様子を写した写真
- ・ 展示カタログ
- ・ 貸出案内のチラシ